

志賀原子力発電所周辺の 環境放射線監視結果及び温排水影響調査結果

石川県、志賀町及び北陸電力(株)は、発電所周辺の環境放射線監視及び温排水影響調査を実施しています。今回は、平成31年4月～令和元年6月の環境放射線監視結果「令和元年度 第1報」及び平成30年度冬季の温排水影響調査結果「平成30年度 第4報(冬季)」の概要をお知らせします。環境放射線監視結果については、志賀原子力発電所に起因する環境への影響は認められませんでした。温排水影響調査結果については、全体として大きな変化は認められませんでした。

I 環境放射線監視(平成31年4月～令和元年6月)

1. 空間放射線

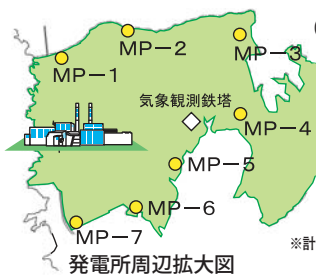
石川県は志賀原子力発電所から30kmの範囲に24局の環境放射線観測局を設置しています。また発電所では7局のモニタリングポストを設置しています。各観測局、モニタリングポストでは、空間の放射線量が1時間あたりどのくらいかを連続して測定しています。

各地点の測定結果は、次のとおりであり、発電所に起因する影響は認められませんでした。

■ 環境放射線観測局(石川県設置)



■ 発電所モニタリングポスト(北陸電力(株)設置)



(参考) 排気筒・排水ピットの計数率
(平成31年4月～令和元年6月) (単位: cps)

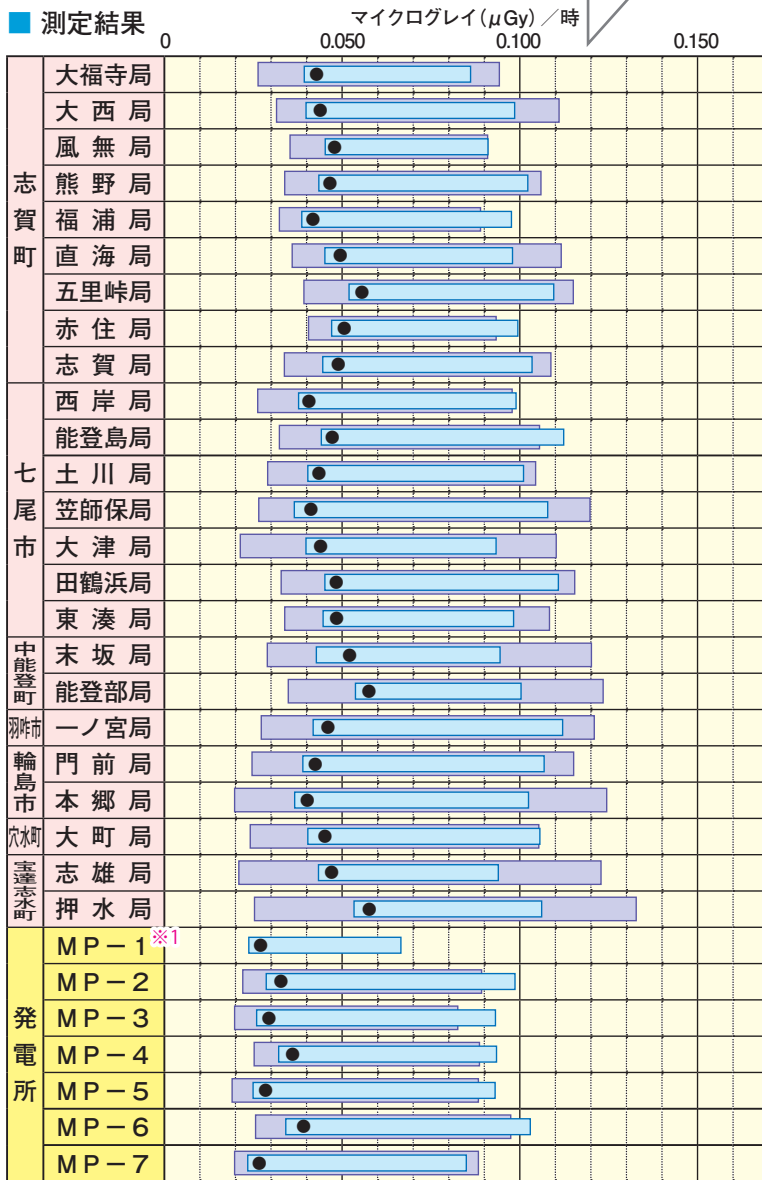
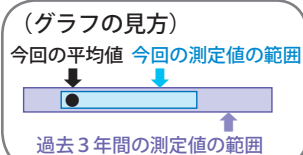
	1号機		2号機	
	排気筒 モニタ	排水ピット モニタ	排気筒 モニタ	排水ピット モニタ
今回の測定値	4～5	10～12	5	11～13
過去の測定値	4～5	10～13	4～6	11～14

※計数率(cps)は、1秒間に計測された放射線の数を表しています。

※ 空間放射線の測定値の単位として、グレイ(Gy) / 時が用いられます。マイクロ(μ)は100万分の1を示します。1マイクログレイ(μGy) / 時=100万分の1グレイ(Gy) / 時



◀環境放射線観測局
(笠師保局：七尾市(地図下線))
空間放射線や風向、風速などを測定しています。



※1 MP-1は平成30年8月31日に故障し、令和元年6月12日に復旧しましたが、復旧に伴いモニタリングポストの周辺環境が変化するため、過去の測定値の範囲については記載していません。

※ 空間放射線の測定値は、通常、宇宙や地面などからの自然放射線によるものであり、0.020～0.100マイクログレイ(μGy) / 時程度です。日常よく見られる変動は、降雨による線量率の上昇であり、0.100～0.200マイクログレイ(μGy) / 時程度となることがあります。

2. 環境試料中の放射能

農畜産物、海産物、水道水などの試料を採取し、これらに含まれる放射性物質（セシウム137、ストロンチウム90、トリチウムなど）の濃度を測定しています。いずれも過去の測定値と同様に低い値でした。

環境試料採取地点(石川県令和元年度分)



(参考) 志賀原子力発電所の運転状況 (平成31年4月～令和元年6月)

調査期間中は、1号機、2号機とも運転停止中でした。

環境試料



▲メバル(前処理)



▲アスパラガス
(灰化処理準備)

測定結果

(グラフの見方)



過去の測定値の範囲(福島第一原子力発電所事故以前)
※これまで検出されていない場合、表示されていません。

【セシウム137】

		(単位)	0.01	0.1	1	10	100	1000
陸上試料	降下物	ベクレル/平方メートル・月						今回検出されず
	大気浮遊じん	ミリベクレル/立方メートル						今回検出されず
	陸水	ミリベクレル/リットル						今回検出されず
	土壌	ベクレル/キログラム乾土						今回検出されず
	松葉	ベクレル/キログラム生						今回検出されず
	牛乳	ベクレル/リットル						今回検出されず
海洋試料	地域特産物	ベクレル/キログラム生						今回検出されず
	海水	ミリベクレル/リットル						今回検出されず
	海底土	ベクレル/キログラム乾土						今回検出されず
	藻類	ベクレル/キログラム生						今回検出されず
	魚類	ベクレル/キログラム生						今回検出されず

※ 試料採取期間 平成31年4月～令和元年6月

【ストロンチウム90】

		(単位)	0.01	0.1	1	10	100	1000
陸上試料	土壌	ベクレル/キログラム乾土						今回検出されず
	牛乳	ベクレル/リットル						今回検出されず
海洋試料	海底土	ベクレル/キログラム乾土						今回検出されず

※ 試料採取期間 平成31年2月～3月

【トリチウム】

		(単位)	0.01	0.1	1	10	100	1000
陸上試料	陸水	ベクレル/リットル						今回検出されず
	海水	ベクレル/リットル						今回検出されず

※ 試料採取期間 平成31年4月～令和元年5月

県政学習バスによる志賀オフサイトセンターの見学について

県では、女性団体やグループなどを対象に、県及び市町等の施設見学を通して県政等に対する理解を深め、社会参画意欲を高めていただくことを目的に、女性県政学習バス(団体)、家族県政学習バス(団体)、地域県政学習バス(団体)、個人県政学習バスを実施しています。

令和元年9月2日(月)、珠洲市から飯田町婦人会の皆様が志賀オフサイトセンターにみえられ、同施設の機能や設備などについて見学されました。



全体説明のようす



プレスルーム



仮眠休憩室

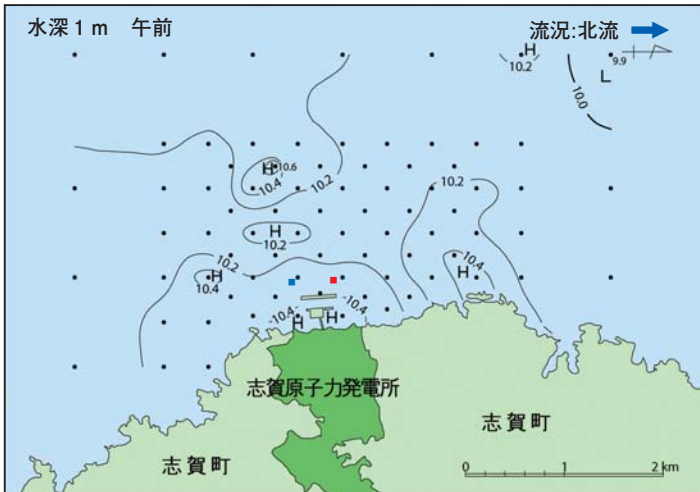


窓の遮へい板

II 温排水影響調査(平成30年度冬季)

1. 水温調査(調査日:平成31年3月20日)

■ 調査結果(水深1mの水温分布) 単位:℃



※ ■は1号機の放水口位置、■は2号機の放水口位置、●は水温調査地点を示す。

〈温排水の状況〉

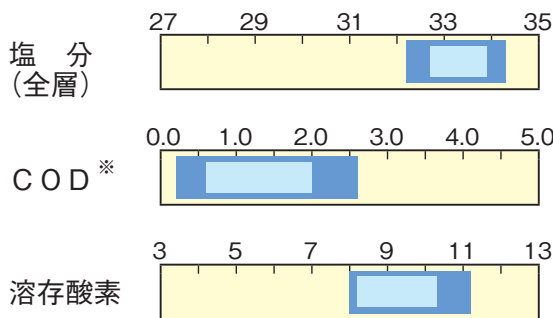
今回は、1号機、2号機とも
運転停止中であり、温排水は
放水されていませんでした。



▲ 調査のようす

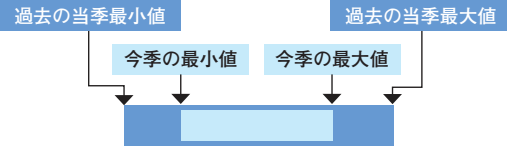
2. 水質調査(採水日:平成31年3月19、20日)

■ 調査結果(単位:mg/l ただし塩分を除く)



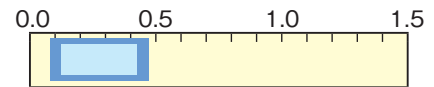
※ COD: 化学的酸素要求量(Chemical Oxygen Demand)

(グラフの見方)

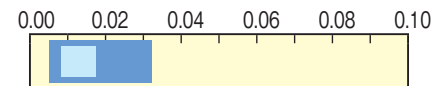


※過去の当季最小値及び最大値は、平成15年度～平成29年度までの調査結果です。

全窒素

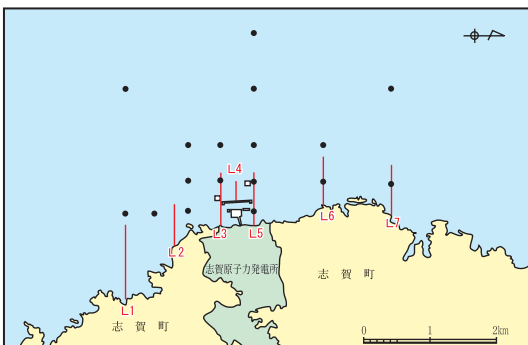


全リン



3. サザエ生息調査(平成31年3月21～30日)

■ 調査地点



●: 水質調査地点 | : サザエ生息調査測線

■ 調査結果

調査測線	水深(m)	調査面積(m ²)	調査結果(平均個体数/25m ²)	過去の調査結果(平成15～29年度)(平均個体数/25m ²)
L 1	3～20	125	6.6	3.0～14.0
L 2	3～20	125	10.8	6.2～17.0
L 3	3～20	125	7.0	4.8～16.8
L 4	15～20	50	0.5	0.5～4.5
L 5	3～20	125	5.6	4.4～19.4
L 6	3～20	125	26.6	3.8～18.2
L 7	3～20	125	9.6	8.0～33.4

水温調査: これまでの冬季調査結果と比較すると、平均水温は過去の範囲にあり、平均塩分は概ね過去の範囲にありました。

同一水深層での温度差は0.1～1.4℃、塩分差は0.1～0.9でした。鉛直的には、上下層間の差は、水温、塩分とも大きい結果でした。

水質・底質調査: これまでの冬季調査結果と比較すると、水質、底質ともほぼ同程度でした。

海生生物調査: これまでの冬季調査結果と比較すると、マクロベントス調査では、平均個体はやや多い結果でした。その他の項目についてはほぼ同程度でした。